

文化芸術機能等施設整備基本計画にかかる現状について

①計画策定からの状況

▼状況変化

H25.9 文化芸術機能等施設整備基本計画の策定

H27.1 草津クリアホールが市に移管

H29.9 ミツ池運動公園テニスコートがオープン(予定)

H31.秋 市民総合交流センターがオープン(予定)



◇文化芸術館機能の一部(展示機能)を総合交流センターに付加

市民総合交流センター整備事業

→要求水準書では、美術展が開催できる機能を備えた多目的室等の設置を明記

- ・遮光可能で照明効果を得られるよう工夫
- ・他のフロアーやオープンスペースでのイベントと連動した利用が可能となるよう、ホワイエ、動線を考慮した段階等を整備
- ・天井高5m程度を確保
- ・同一フロアーで合計で600㎡程度のイベントスペースを確保できるよう、多目的室Bを特大会議室と近接など

②今後の課題と方向性

▼機能の分散整備

◇歴史伝統館機能の整備(収蔵機能・展示機能)

→シビック・プライドの醸成・文化の魅力発信のための拠点整備の検討

→「歴史文化基本構想」を策定する中で検討